

11月

10日(金)	第4回保健事業支援・評価委員会	[全国都市会館]
13日(月)	第4回機関誌「東京の国保」編集委員会及び広報に関する連絡会	[本会]
14日(火)	国民健康保険組合東京協議会幹事会	[本会]
15日(水)	平成29年度第2回事業計画及び予算に関する委員会	[本会]
16日(木)	特別区国民健康保険担当課長会	[東京区政会館]
17日(金)	東京都市国民健康保険協議会定例会	[東京自治会館]
22日(水)	国民健康保険組合東京協議会連絡協議会	[本会]
27日(月)	東京都市保健師事務連絡会	[東京自治会館]
29日(水)	国民健康保険組合被保険者全国大会	[憲政記念館]
30日(木)	国保制度改善強化全国大会	[よみうりホール]

12月

1日(金)	平成29年度第3回理事会	[本会]
8日(金)	特別区保健師業務連絡会	[東京区政会館]
12日(火)	国民健康保険料(税)収納率向上対策研修会(実務担当者向け) 平成29年度国民健康保険収納率向上対策に係る褒奨制度賞状授与式	[本会] [本会]
14日(木)	国民健康保険組合東京協議会幹事会	[新宿区]
18日(月)	第5回保健事業支援・評価委員会	[全国都市会館]
20日(水)	特別区国民健康保険担当課長会 国民健康保険組合東京協議会連絡協議会	[東京区政会館] [本会]

## 北斎が描いた昆虫たち

— その四 —

### 人気作家の苦惱 — キリギリス



葛飾北斎「北斎漫画」より  
墨田区蔵

おわかれ致します。あなたは、嘘ばかりついていました……

これは、太宰治の短編小説「きりぎりす」の書き出し。お得意の「女性独白体」で書かれた、太宰文学の真骨頂とも評される作品ですが、筋書きそのものは実にたわいがない。周囲の反対を押し切って貧乏画家の妻となった「私」が、夫が売れっ子となるにつれ、しだいに愛情を失ってゆく……と言うお話です。

「三行半」どころか、文庫本にして20ページにもわたる「訣別の理由」が、主人公「私」の一人称で連続と綴られる中で、タイトルのキリギリスは、終盤に一度だけ登場します。或る夜、「私」がひとり仰向けに寝ていると、縁の下でコオロギの鳴き声を耳にする場面。その声を「なんだか私の背骨の中で小さいきりぎりすが鳴いているよう」に感じ、「この小さい、幽かな声を、一生忘れずに、背骨にしまって生きて行こう」と決心するのです。

イソップ物語の「アリとキリギリス」では、享楽主義者として描かれるキリギリス。人気作家としてもはややれるようになった太宰は、物語では惨めな最期を迎えるキリギリスに己の姿を重ね、女性の心変りに怯えていたのかもしれません。